



Newsletter
No.93

2024年7月1日

発行 レイバーネット日本
〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108
http://www.labornetjp.org
labor-staff@labornetjp.org
電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

これからも「現場からの発信」をつづける！

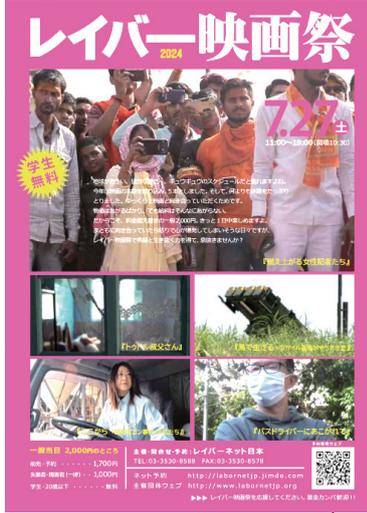
—レイバーネットTV祝 200号—

2010年5月からスタートした「レイバーネットTV」が、今年5月15日に200号を迎えた。記念すべき当日の番組では、200号を振り返る10分間のダイジェスト映像を流した。木下昌明さん、山口正紀さんなど番組を支えた人たちの凛々しい姿が印象的だった。また「毎日新聞」(5/5付/東海林智)も、大々的にレイバーネットTV200号の意義を報道した。見出しは「市民メディアの先駆け」

向き合っていたくためです。物価は上がるばかり。給料はほとんど上がらない。だからこそ、料金据え置き的一般2,000円です。

で、レイバーネット会員の方で、もしかして見逃している方に特にオススメしたいのが『燃え上がる女性記者たち』です。インドの最下層カーストである被差別者の女性たちが運営する新聞「カバル・ラハリヤ(ニュースの波という意味)」が紙媒体からスマートフォンやPC、YouTubeを駆使したデジタルメディアへと変貌する過程が、丁寧に描かれています。「なんて、レイバー映画祭向きの作品なんだろう!」と私は初見の際、心からそう感じました。今度は見逃さないください。その他『島で生きる—ミサイル基地がやってきた』『ここから「関西生コン事件」と私たち』『トゥドル叔父さん』『バスドライバーにあこがれて』も、もちろんオススメです。きっと1日中楽しめますよ。まともに向き合っていたら怒りで心が爆発してしまいそうな日々ですが、レイバー映画祭で希望と生き抜く力を得て、息抜きしませんか?(土屋トカチ) *詳細はチラシをご覧ください。

★プロジェクト活動が広がる
各プロジェクト活動が広がっている。すでに実績のある「川柳班」「ブッククラブ」「シネクラブ」「フィールドワーク」に加え、「レイバーネットねりまの会」が発足し、ことし5月に初の上映会企画を行った。また東京・国立の居酒屋スペース「キノ・キューハ」を舞台にした「三多摩レイバー映画祭」は2年目に入り、多彩な人たちの交流の場として定着している。*各部の報告は3面参照



「現場から」発信に信念

「現場から」発信に信念とある。記事のなかで永田浩三さんは「労働問題の当事者が発言し、多様な人が社会問題や映画について発信している。こうした自由な発信の場を作ったことは高く評価されるべきだ」とコメントしている。日本機関紙協会もレイバーネットの活動に注目しており、「機関紙と宣伝」7月号で大きく取り上げている。

ことし前期のレイバーネットTVは、「群馬の森」朝鮮人追悼碑/パワハラ横行!バス業界の闇/原発とマスコミの大罪/2024 春闘を問いなおす!/だめ連の資本主義よりたのしく生きる/日本の空は大丈夫か?/大山商店街からの訴え(写真は2面)/新型コロナからみえてきたもの、と意欲的な企画が目白押しだった。マスコミが「やらない・できない」企画、当事者の現場からの発信に今後も力を入れていきたい。(松原明)

★レイバー映画祭 2024 で希望と生き抜く力を

夏恒例のレイバー映画祭。2024年も開催します。地球が危うい、猛烈な夏。ただでさえクソ暑いのに、ギョウギウウのスケジュールだと、そりゃ疲れますよね。今年は映画の本数を絞り込み、5本としました。そして、何よりも休憩をたっぷりとりました。ゆっくりと映画と

今後のレイバーネット活動案内

- レイバーネットTV204号 7月10日(水) 8月お休みで9月から再開します
- 夏期合宿 8月24日(土)25日(日) SCAT セミナールーム「毛呂分室」
- レイバーフェスタ2024 12月25日(水) ココネリホール(東京都練馬区)

厳しい状況! 財政カンパのお願い

2024年に入り、諸物価高騰が会財政を直撃しています。とくに全水道会館の会場費が、1.5倍になったことが響き、7月時点での手持ち金額が30万円を割ってしまいました。安定財政に戻すためにはあと50万円が必要です。諸事情をご理解のうえ、会費・カンパの納入を節にお願いします。宛名のところに納入状況が記載されています。同封の振替用紙をご利用ください。(事務局)

初披露の講談「房総・花物語」が大反響

～レイバーネット総会 2024 開かれる～

3月23日、東京・水道橋の「スペースたんぽぽ」でレイバーネット 2024 総会が開催されました。約 30 人が集まり、熱心にディスカッションが行われました。第一部は「活動報告・会計報告・運動方針」の討議でした。今年 24 年目を迎えたレイバーネットですが、その存在意義は大きく、「はたらくものの情報ネットワーク」として、次の 10 年に向けて運動方向を確認しました。レイバーネット TV の担当者からは「レイバーネットのウリは現場からの生の声」との発言がありました。



第二部では、甲斐淳二さんの新作講談「房総・花物語～戦時下で花を守った母と子」が披露されました。約 40 分の講談に聴衆は釘付けで、涙をぬぐう姿がありました。講談は、千葉県房総であった戦時下の庶民の抵抗を実話をもとにしています。聴衆もあの時代に引き込まれました。そして「これは決して過去の話ではない。日本でも平時農業から有事農業への転換が始まっている。私たちはハマたちの行動を語り継ぎ、いまの時代に活かしていきたい」と甲斐さんは結びました。大きな拍手が起きました。そして「この講談を全国に広げたい」という声が、多数寄せられました。

【2023 年度会計報告】

●基本財政	収入（会費カンパなど）会費	1,273,784 円
	支出（ニュース、交通費、事務所、各部費用など）	1,299,440 円
	差引	△ 25,656 円 (a)
●レイバー映画祭 2023	収入	360,866 円
	支出	326,100 円
	差引	34,766 円 (b)
●レイバーフェスタ 2023	収入	313,448 円
	支出	245,300 円
	差引	68,148 円 (c)
●レイバーネット TV	収入（サポーター会費・カンパ）	245,000 円
	支出 放送一式 16 回分	264,614 円
	差引	△ 19,614 円 (d)
〔差引残高〕		
	2023年度の決算 (a)+(b)+(c)+(d) =	57,644 円
	2022 年度よりの繰越金	870,570 円
	差引残高	928,214 円
		(2023 年 12 月 31 日)

〔追記〕運営委員メンバーは、若干の入れ替えはありましたが、基本的に 2023 年度メンバーを踏襲しました。今後の課題としては、会員の高齢化があり、活動態勢の見直しや工夫が求められています。また財政は順調に推移してきましたが、2024 年に入り、かなり厳しくなっています。会費・カンパの納入のご協力を切に訴えます。

サブチャンネルを開設しました

レイバーネット・サブチャンネルを、2024 年 3 月 15 日に開設しました。2001 年に発足したレイバーネットは今年で 24 年目になりました。このメインサイトは、日本初の「ZOPE 方式」を使った双方向の画期的ウェブサイトです。しかしすでに 24 年が経過し、膨大な情報量を抱えており、めいっばいの状況です。SNS 時代への対応も必要です。そのため新しいサーバー導入をきっかけに、サブチャンネルを「Word Press」で立ち上げました。2つのサイトは、NHK の第一・第二のように役割を分けて運用していきます。メインチャンネルは従来とおりで、ニュース・イベントを中心に構成します。サブチャンネルは、会活動を中心に構成します。

●サブチャンネル

→ <https://www.labornetjp2.org>



レイバーネット TV 初の出張放送

5月27日のレイバーネット TV201号「大山商店街からの訴え」は初の出張放送だった。「アーケード解体反対！再開発反対！」をオヤジたちが大いに語った。

♪♪♪ レイバーネット・各プロジェクト報告 ♪♪♪

レイバーネットねりまの会

上映イベントを展開中！

東京・練馬区の西武池袋線練馬駅直結の「ココネリ」に団体登録しました。そして4月から、この場所を使った「レイバーネットねりまの会」の活動が始まりました。ココネリは新しい施設で、バリアフリーで空間にかなりの余裕があり1階のスーパーで購入したものをショッピングカートで3階の研修室やココネリホールに搬入して、会食もでき、コピーや印刷機、紙折り機や裁断機も使え、ポスター



張り出しや置きピラもさせてもらえます。この施設の3階の研修室という120名以上入れる部屋で、4月からねりまの会として上映とトークの集いをツキイチ・ワンコインという手軽さを売りに展開し

ています。第一回は4月17日に開催し、『日本人 オザワ』上映+トークイベントを行いました(写真)。そして5/15『風の舞』、6/12・7/12は「澤則雄さん作品上映」と続いています。まだ赤字運営ですが、年末には、「原発止めよう秩父人」の仲間、元イスラエル兵士としてガザ攻撃に反対して、全国を講演して大好評のダニー・ネフセタイさんの講演会など、強気で先々の予定も企画中です！(橘優子)

ブッククラブ

読書会ではこんな本を読んできた

過去1年間ブッククラブで、どんな本を読んだか。ざっと振り返ります。『ルポ 低賃金』(2024.6.8)、『アンブレカブル』(4.11)、『イスラエル軍元兵士が語る非戦論』(3.4)、『検証ナチスは「良いこと」もしたのか?』(2023.12.10)、『コモンの自治論』(10.21)、『朝のあかり』(8.26)。以上六冊。ルポルタージュ、小説、エッセイ、研究論文など、多彩なジャンルが並びました。参加者の興味の赴くところ、その時々決めてこうなりました。これからも参加者の関心に従って、多様なテキストが選ばれるでしょう。その自由闊達なスタイルをこれからも活かしていきたいと思います。読書会は2017年にスタートし、ほぼ隔月開催で7年になりますが、いつからでも1回だけでも参加できます。次回49回は、8月4日(日)『コスタリカ』(伊藤千尋、高文研、1800円)がテキストです。軍隊を持たない国の社会と生活はどんなものか？興味深い読書会になりそうです。ご参加ください。ぜひどうぞ。(志真秀弘)

川柳班

『反戦川柳句集』の第2弾をつくりたい

川柳班は、月一回程度の「句会」を続けている。すっかり定着しているが、先日はウェブサイトを見てやってきた50代前半の男性が初参加し、賑やかになっている。6月句会の高得点句は「セルフレジ仲間のクビがひとつ飛び」。あらゆる所で進むIT化への痛烈な批判だった。これまで川柳班では何冊もの句集を発行してきたが、在庫もなくなったこともあり、新たに『反戦川柳句集』の第2弾を出そうと話し合っています。(M)

シネクラブ

『はだしのゲン』はまさしく今を描いていた

2月に行なった『日本人 オザワ』は、レイバーネットのメンバーである尾澤邦子さんと孝司さんが主人公。韓国SMUGに始まり、ここ数年では韓国サンケンや韓国オプティカルなど、不当解雇と闘う韓国労働者を40年以上にわたり支えてきた二人を軸に、韓国KBSが見ごたえあるドキュメンタリーにした。尾澤さんによって事実を知り、一緒に遠征闘争を支えたりする人たちも多く、映画の中には私たちの身近な仲間たちが沢山登場する。これが韓国のアカデミー賞と言われる百想芸術大賞を受賞した。誇らしくもあり、日韓の民衆メディアの差を見せつけられる思いがする。6月には『はだしのゲン』を観た。言わずと知れた名作だが、三国連太郎と左幸子が演ずる実写版はものすごい迫力だった。参加者が異口同音に語ったのは「まさしく今を描いている」ということ。これが図書館や教科書から消されているという現実、何としても抗いたいという声が多かった。(堀切さとみ)

三多摩レイバー映画祭

ことしも交流の輪ひろがる



昨年が続いて2回目の三多摩レイバー映画祭2024が、6月2日に開かれました。『ピケをこえなかった男たち』『私の好きな店』『わたしは非正規公務員』『マリアとサリー〜パウハラ』の正体』『日本人 オザワ』が上映されました。映画を楽しんだあとは、大交流会となりました。飲食をしながら、全員が発言し、自己紹介、映画の感想、質問などが相次ぎました。参加者は、労働組合員をはじめ、市民活動家、映像メディア関係者、一般市民など多種多様な老若男女でした。新たなネットワークがうまれた「三多摩レイバー映画祭」となりました。(M)

フィールドワーククラブ

足尾鉍毒事件は今も続いている



5月31日から6月1日まで、一泊二日で足尾銅山鉍毒事件を訪ねるフィールドワークを行いました。ガイドしてくれたのは鉍毒事件を長く研究している坂原辰男さん。まず佐野郷土博物館を訪れ、「田中正造展示室」を見学、その後、渡良瀬遊水地に向かいました。遊水地は谷中村の僅か一部だというのが、その広さに被害の大きさに驚きました。それから太田市の「足尾鉍毒事件展示資料室」「祈念鉍毒根絶碑」に行き、そのあと、この日の宿泊所となるOKIYAという昔の置屋を民宿にした宿屋でイタリア料理の夕食を取りました。翌日は廃村となった松木村跡に行き植樹を行いました。露出して黒黒とした銅滓の体積場を見学しました。足尾銅山の製錬所の異様な姿に驚き、立派な中国人慰霊碑と気が建てられただけの朝鮮人の慰霊碑を見て、それぞれの思いを抱きながら帰郷しました。(根岸恵子)

新会員紹介

●「朝日新聞」社会部に40年いました 豎場勝司

1958年、千葉県生まれ。記者として朝日新聞に入り、40年余勤務した後、2023年2月に定年退職。以後はフリーのライターとして、主に週刊金曜日に記事を書いています。朝日新聞では社会部記者のキャリアが長く、神羅万象、面白いと思ったネタは何でも記事にしています。これまで週刊金曜日で取り上げてきた話題は、マイナ保険証、中高年女性の貧困、子どもの貧困、非正規公務員の問題、「川の図書館」、模擬原爆など。今年4月に発足した「核兵器をなくす日本キャンペーン」に、ボランティアとして関わっています。

●ユナイテッド不当解雇撤回の闘いを終えて 吉良紀子

コンチネンタルマイクロネシア航空で客室乗務員として勤務して参りましたが、ユナイテッド航空との合併の過程で、2016年、日本の労働組合員私達12名のみが組合差別により解雇されました。ユナイテッド航空に対して解雇撤回を求めて多くの労働組合のご支援をいただきながら裁判、現場闘争をしてきましたが、残念ながら2022年最高裁で敗訴し、2023年には終結する方針を決めました。今まで暖かいご支援を下された皆様から感謝しております。現在、東京地裁の行政訴訟（ユナイテッドの団交拒否は正当だったという判決を下した中労委に対する裁判）も5月に結審し、8月7日に判決を迎えます。この判決を受けて、8年間の裁判闘争の区切りとして、ご支援下さった各労組の皆様に「報告集会」を開催し、この不当解雇撤回の闘いは終結します。「報告集会」の日程が決まりましたら、またご案内させていただきます。

●フツーに暮らせる社会へ、運動盛り上げたい 新田 諭

現在、日本機関紙協会に勤務し、労働組合や民主団体の機関紙発行をお手伝いする業務や機関誌発行に従事しています。これまで機関紙連合通信社（編集記者）、きかんし（営業）で計15年間働いてきました。労働運動に関しては誤ったイメージや言説が流布し、労組・ユニオンからの発信も不十分なケースがままあると感じています。働く権利の保障や法律が改正され、制度の改悪を阻んできたのは、たしか労働組合の存在があればこそ。そうした当事者の声を届けるレイバーネットの活動に賛同します。非正規雇用の差別問題、男女の処遇格差など課題は多くあります。私たち一人ひとりが当事者です。フツーに働けばフツーに暮らせる、当たり前前の社会をめざし、微力ながら奮闘いたします。

●ワーカーズコープのパワハラと闘っています 那須研一

杉並区の学童支援員、愛称はなっすー、小学生のアイドルです。レイバーネット川柳会員、柳号は祖先の名にちなみ夜市です。板橋の連帯労働者組合員、ワーカーズコープ

のパワハラと闘っています。調布駅前広場パレスチナ連帯スタンディングの会員、イスラエルはただちにガザ虐殺をやめろ！を訴えています。哲学塾生、関心はカントの批判哲学ですが、最近さぼり気味です。

●地方にレイバーネットの火を！ 竹井恭子

私は311をきっかけに、メディアがどれだけ本当のことを報道しないかを痛感した後、自分からそれまでの枠を破って情報をとりに行くようになり、その中でレイバーネットの存在を知りました。自分自身は、関東から西に避難し、三年半前から避難者仲間の有志と一緒に、311関連の映画の上映を大阪でやっています。レイバーネットの印象が深く残ったのは、2011年の東京の「レイバー映画祭」、故木下昌明さんの3分ビデオ、2023年にオンライン受講した「松原明さんの3分ビデオ講座」でした。既存のメディアは、新型コロナパンデミックの中で、またウクライナを巡って、どんどんレベルダウンしていくのに驚くばかりです。「市民の目線での自由な情報発信の場」としてのレイバーネットに期待し、「映画にも、文化にもその力を十分に発揮してほしい」と願って、会員になりました。これから会員の方とつながって、関西でも、3分ビデオ講座やレイバー映画祭をささやかでもできればうれしいです。（311特集上映実行委員会）

●表現活動をしていきたい コールさとう（佐藤壮広）

はじめまして、またお久しぶりです。2009年に「非常勤ブルース」という歌で、教員の非正規雇用の現実を表現した、コールさとうと申します。現在は山梨学院大学の“特任”教員です。「特任」という任用制度を法人が都合のよいように活用するケースは、常態化したまま増えています。ブルースを聴らねばなりません。私は、宗教学・人類学を専門とする研究者です。琉球・沖縄文化を研究しています。歌や踊りや芝居、文学などを通して、自分たちの苦境や希望を表現してきた琉球・沖縄の文化の力、表現の力に敬意を抱きつつ、自分もまた表現していきます。あらためて、どうぞよろしくお願いたします。（コールさとう callsato@gmail.com）

●ワクチン被害当事者として 池口 歩

6月12日のレイバーネットTVに出演したワクチン被害当事者の池口と申します。現在20歳台で、埼玉の南部に在住しております。元福祉労働者・通信制大学生です被害当事者として現在の被害状況がどうなっているかなど、予防接種健康被害救済制度の被害認定数や、コロナ後、ワクチン後の人口動態調査による死亡数の挙動など色々と調べたことを、問題提起の意味も含め、お話しさせていただきました。まずは、被害の存在を知っていただけたら、また、国の施策が果たして命を救ったのか？など、考えるきっかけにしてくだされれば幸いです。

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 560名
ウェブアクセス 1日6,000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000円
(B会員 = 5,000円 通常 + TVサポート)

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
銀行口座 きらぼし銀行 小竹向原出張所
普通 5002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578